

令和2年 第11回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和2年9月18日

仙北市教育委員会

令和2年 第11回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和2年9月18日（金） 午後1時30分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	佐藤 義一
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	朝水 勝巳
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 徳夫
教育次長兼文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
学習資料館・イベント交流館長	藤原 真栄
北浦教育文化研究所長	米澤 孝子
総合給食センター所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	高橋 良宣
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	佐々木 信介
スポーツ振興課参事	真崎 智明
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 報告事項

報告第38号 仙北市議会定例会一般質問について

報告第39号 特別支援教育支援員派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和2年第11回仙北市教育委員会9月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には湯澤課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、安部教育長職務代理者を指名いたします。

(熊谷教育長)

私のあいさつとして3点申し上げます。9月12日、13日に中学校の新人戦大会の代替大会が開催されました。本市の中学校の活躍は大変素晴らしく、特に角館中学校、神代中学校が非常に活躍が目立ったなと思っております。角館中学校のバスケ女子が優勝、柔道女子が準優勝、剣道女子が優勝、剣道男子が3位、卓球男女が3位であります。神代中学校は柔道男子が準優勝、テニス女子が準優勝、バレーボールが3位、野球は決勝戦が21日ですが、大仙市の西仙北中学校と決勝であります。続いて、9月16日に秋田市の城東中学校で行われました私の主張全県大会でさきがけ新聞にも大きく取り上げられましたが神代中学校の尾樽部ころさんが「人は支えられることで強くなれる」というタイトルで最優秀賞に輝いています。全県の弁論大会の最優秀賞というのはここ何十年ちょっと仙北市の前も含めて聞いたことがない、素晴らしい快挙であると思えます。次に、9月20日に仙北市15周年記念式典が行われます。教育委員の皆様にもご出席していただきたいと思いますが、ぜひコロナ禍の中ではありますが大変に行いたいというふうな市長の思いもありますし、何とか良い記念式典にしたいなと思っているところでございます。

(熊谷教育長)

次に9月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

9月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

それでは、議事に入ります前に佐藤教育部長から発言の要請がありましたので許可いたします。佐藤部長、お願いします。

(佐藤教育部長)

議事の前に貴重な時間をお借りしまして大変恐縮ですが、資料の取り下げについてお諮りしたいと思います。配付しておりました今回定例会の資料の一番最後に河正雄氏からの寄贈についてということで版画5点の寄贈依頼に対する教育委員会としての対応案を今日はお諮りする予定でありました。しかしながら、今後このような寄贈があった場合、美術館の収蔵庫のスペースが狭いですとか、あるいは今後の寄贈について、今回の寄贈について辞退することそのものがちょっと今後のいわゆる教育行政、文化行政と言いましょうか、支障をきたすリスクがありますもので今一度、教育委員会内で検討し場合によっては市当局とこのあり方について検討したいと思いますので、本日この案件については取り下げさせていただきたいと思っておりますので、どうかご理解をお願いしたいと思います。今後必要に応じて相談かける場面はあろうかと思っておりますが、今一度教育委員会内で相談してみますのでどうかその辺のところをご理解いただきたいと思います。

(熊谷教育長)

この件について、いかがでしょうか。

－質問なし－

では、取り下げさせていただきますので、どうかよろしく願いいたします。それでは議事に入ります。報告第38号仙北市議会定例会一般質問について説明を求めます。

(佐藤教育部長)

今回の一般質問について、別紙のとおり教育委員会として答弁したので報告いたします。

【平岡 裕子議員】

新角館庁舎開庁後の再編案が示されたことに関連して

(1) これまで、教育委員会管轄であった文化財課を市長部局に移すことにより、これまで

の文化財に関する事柄がどのように変わるのか。

- ・この度の組織再編では、文化財課は教育委員会から、新たに設置される観光文化スポーツ部の所管に変更になり、文化創造課と文化財保護室に再編されることとなります。「文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成31年4月に施行されたことにより、地方公共団体における文化財保護の事務が教育委員会の所管から、条例により地方公共団体の長が担当できるようになりました。改正文化財保護法の目的は、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図ることです。過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題であり、未指定を含めた文化財をまちづくりの核とし、社会総がかりでその継承に取り組んでいくことが重要であります。このような事から仙北市においても、教育委員会から市長部局へ所管が変わることにより、今まで以上に広く、観光振興、経済対策等との連携が取れることとなり、仙北市全体で、地域文化財の総合的な保存活用を進めていけるものと考えおります。教育委員会としても、小中学校での学習の場や生涯学習の学びの一環として等、これまで以上の連携にて文化財の保存活用に努めて参りたいと考えています。また、あらたに文化創造課が設置されることで、仙北市内の芸術文化団体の育成、芸術文化活動への支援、民俗芸能に対するサポートなど、今までなかなか取り組めなかったことについて、広くサポート出来る体制を整えられることから仙北市民の文化振興に寄与されるものと考えております。

(2) 公民館活動について

中央公民館(西木)として、現西木庁舎側の施設を利用される予定とあるが、先の委員会報告では、公民館は、市民の活動の場として広く利用される。公民館には厨房が必要ではないか。希望がある時は、神代就業改善センターの使用を奨めたいとの内容であったと思うが、就業改善センターの調理室の現状をどのようにとらえているのか。

- ・市民の幅広い生涯学習活動の拠点施設である「公民館」は、平岡議員が仰るとおり多くの方々幅広く利用している社会教育施設ですが、近年では社会情勢の変化に伴い市民の学習ニーズが大きく変わり、時代に即した生涯学習推進体制の整備が求められています。このたびの組織再編に伴い、予てから検討されていた中央公民館構想により、現在の西木総合開発センターに西木公民館を兼ねた「中央公民館」を設置することで現在準備を進めています。しかし、既存施設の改修ということもあり、基礎や間取りなど建設当時の構造的な問題が多く、当方で要望していた「調理実習室」の設置は困難との結論に至りました。議員ご承知のとおり、近隣には農林部所管の神代就業改善センターがあり、神代地区公民館の機能を併せ持つ施設となっています。同センターには、各会議室のほか市の公共施設の中で最も広い調理実習室を備えており、料理教室をはじめ様々な用途で活用されています。また、所在地についても市の中心部にあることから、公民館主催の料理教室会場として使用する機会も多く、参加した市民からは概ね好評をいただいている一方で、設備等の老朽化により、必ずしも市民のニーズに応えられている状況ではないと認識しています。課題解決に向けては、今後も関係機関と協議し、利便性の向上に努めます。

【伊藤 邦彦議員】

市立体育館・他 2題についてお伺いする。

- (1) 先般市立体育館構想について、佐藤工業より説明をいただきながらの勉強会が開かれた。市立体育館は市民の永年の夢である。しかし、財源が枯渇に等しい本市にあって

いかにリースであれ現実味があるのか？この計画は合併前の田沢湖町の構想に遡るが、門脇市長が誕生してからも度々出たり消えたり of 構想だ。この度の勉強会が建設にむけて一步を踏み出したと捕らえていいのか？とすれば市立体育館建設に向けての確かな計画とスケジュールをお示し願いたい。

- ・総合体育館整備については仙北市総合計画に掲げられ、仙北市体育施設マスタープラン策定委員会及び総合体育館（仮称）建設調査検討委員会の提言を受け、平成29年度に総合体育館建設基本計画が作成されています。平成30年度に総合体育館（仮称）建設検討委員会が開催され、基本計画の建設費が40億円超であり、ランニングコストも年間3,500万円程度と試算されていることから、仙北市の実情を踏まえこのまま計画を進めることは厳しいとの認識を共有しています。その後、民間事業者からPPP手法を活用した建設の提案がなされており、総合体育館整備の手法として勉強会が開催されていますので、今後も引き続き整備の検討をしていきます。当面、老朽化が進む生保内体育館の改修も視野に入れ、市民のニーズに応えながら、スポーツの振興を図りたいと考えています。

(2) 又、かねてからお願いしている西明寺中学校野球場のバックスクリーンの件であるが、これは当局も教育委員会も知つてのとおり一度予算計上される間に同中の体育館の屋根の修理に回された経緯がある。子供達、生徒達への教育の根幹は嘘をつかない・約束は守る・この2つ教え導く教訓に入っていないませんか？市長並びに教育長にご答弁をいただきたい。

- ・西明寺中学校野球場は平成22年度に落成し、その後、要望のありました体育館のトイレを外からも利用できるようにするための改修やコートベンチの設置等も行い活用いただいています。ご指摘のバックスクリーンについては、審判部や地域の野球を愛好する多くの声を代表した形で、議員から、これまで再三に渡って要望いただき、私共といたしましても、何とか実現したいと考えています。しかしながら、学校施設という観点から、限られた財源の中、児童生徒の安全安心が最優先であり、各学校からの要望等バランスを図りながら、緊急性等優先順位を付けて進めていることから、未だ着手できていない現状です。現在、当市の子どもたちの野球をはじめ各種スポーツ活動への情熱は極めて高く、各スポーツ大会でも、素晴らしい成果を上げています。特に、野球では先日開催された中学校総体の代替大会で、市内の5中学校が全て決勝戦に進出するなど大活躍でした。このような子どもたちの活躍を後押しするという観点からも、この設置は意義のあることと考えています。仙北市の未来を担う子どもたちの、安全安心でよりよい教育環境を構築することは、学校、保護者、地域住民が等しく望んでいることであり、今後も、各方面のご意見を十分にお聞きしながら、財政的課題を克服し、よりよい環境整備に向けて尽力します。

—資料により説明—

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

—質問なし—

ご理解いただいたということで承認いたします。次に報告第39号特別支援教育支援員派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱制定について説明を求めます。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

議案綴りの6ページをご覧ください。要綱第7条の見出し中「賃金」を「報酬」に改め、同条第1項を次のように改める。報酬は「仙北市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する規則」に基づき支給する。附則、この告示は公布の日から施行し、令和2年4月1

日から適用するということで、特別支援教育支援員につきましても、この度会計年度任用職員になるということでそれに付随する要綱の一部をこのように改正するものでございます。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

ご理解いただいたということで承認いたします。

次にその他の時間とします。はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

8月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。8月の授業日数は9日となります。この間のいじめについては小学校7件の認知件数の報告がありました。中学校は0件でした。次に、8月の不登校児童生徒についてですが、小学生2名、中学生6名、計8名となっております。前月より1名増となっております。以上、8月のいじめ、不登校の状況です。もう1点、10月中旬から11月の初めにかけて、中学生、高校生の作品展として市内何カ所かを会場にして美術の作品展、また書道等、いろいろ中止されて街中が寂しくなっているので、何とかそういう作品展をやりたいということで今準備を進めているところです。詳しく決まりましたらまたお知らせしたいと思います。期日は10月24日から11月8日までの間というふうに設定しているところです。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

美術作品展について、大変良いことだと思っています。今ちょっと聞き逃したところがあつて、小学生は対象ですか。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

小学校はないです。

(安部教育長職務代理者)

これは展示するだけですか。優劣とかはあるんですか。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

展覧会ということで、コンテストとは違うようになります。発表会のような感じでやりたいと思います。

(安部教育長職務代理者)

小学生もちょっと入った方が街並みを賑わす意味でも良かったのではないかなという今後の課題として入れておいてほしいなと思います。

(熊谷教育長)

他にいかがでしょうか。

－質問なし－

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

令和2年第9回仙北市教育委員会定例会の会議録をご覧ください。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、朝水次長へ連絡してください。その他、何かありますか。

(三浦教育次長)

先月の下旬でしたけれども、市内の小中学生の家族が新型コロナウイルスの感染者の濃厚接触者になるという事案が発生しております。この事案を受けまして、9月1日付けで、この後ですね、市内の小中学校関係者にコロナウイルス感染者等が発生した場合の臨時休業のあり方についての指針を策定して各学校に示したものです。この後に何か変化があれば変更していくという心づもりでおりますけれども、内容について委員の方々からも後ほどご確認いただければなということですよ。

(熊谷教育長)

皆様、いかがでしょうか。

(安部教育長職務代理者)

市内小中学校関係者というのは、児童生徒、教職員という意味でしょうか。

(三浦教育次長)

そうです。

(熊谷教育長)

他にいかがでしょうか。

－質問なし－

他の件で何かありますでしょうか。

(橋本委員)

先ほど、教育長の方から中学校の総体でいろいろ活躍されているという報告がありましたが、野球とかバレーボールは他校との合同チームで団体種目として出場できるようですけれども、前に個人種目のある競技については他校の生徒と組んで団体で出場することはできないというようなお話があったと思うんですが、例えば卓球なんか他の方の学校ともし組むことができれば、いきなり二つ負けのところからスタートしないでやれるんじゃないかなと思ったりしてます。そういうことについて意見とかがあって将来的に改善される可能性とかもしあればということでお伺いしたいと思います。

(三浦教育次長)

その基準につきましては、中学校体育連盟で定めているものですので、うちの方の立場といたしましては、この後、中学校体育連盟の方にそういった話をしていきたいと思えます。

(熊谷教育長)

他にいかがでしょうか。

(佐々木市民会館長兼田沢湖図書館長)

自衛隊のコンサートについて報告をさせていただきます。10月18日に市民会館で海上自衛隊音楽隊によるコンサートを予定しております。昨日の話なんですけど、自衛隊の広報の方から電話がありまして、10月18日の仙北市のコンサートの前日、10月17日に大仙市の和ピアで同じくコンサートをする予定でしたが延期になったという報告がありました。仙北市では実施する予定であるかという問い合わせだったんですが、広報の方の話では、まずおそらく先ほどからお話に出ています大仙市協和地区でのコロナの陽性者が発生したことによるものではないかというお話でした。また、今月下旬に由利本荘市のカダーレでも同じ音楽隊によるコンサートが予定されていますが、そちらは予定通り実施するとのことですのでございます。市民会館といたしましては、幸い仙北市ではまだ市内で陽性者が確認されておりませんので、座席数を半分以下に減らしたり、入場者の検温や手指の消毒、予防対策を徹底してコンサートを実施していきたいと思っております。また、中止の判断にいたしましては、市内でもし陽性者が確認された場合は、即中止または延期をしたいと思っております。

(熊谷教育長)

他にいかがでしょうか。

(佐藤教育部長)

前の定例会でもお話をしておりますけれども、今、冒頭で事業報告しましたとおり9月の定例会の最中でありまして、初日にGIGAスクール構想の推進事業費が国からの内示決定があったのを受けまして、141,299千円の事業費を初日にお認めいただきました。本日、その端末の入札会を行いまして株式会社アイネックスに落札決定しております。23日に仮契約を交わしまして、議会最終日の25日に議案として上程しましてお認めいただいて本契約に持っていくというような予定をしておりますのでご報告させていただきます。

(熊谷教育長)

他にいかがでしょうか。

(藤原学習資料館・イベント交流館長)

お手元のチラシなんですけど、9月26日から来年4月11日まで半年間に渡るロングランになりますけれども、角館の図書館が大正9年にできてから今年で満100年を迎えました。ということで100年の宝物ということでいろんな方々から貴重な資料や絵画を寄贈受けています。もちろん新潮社からは大正11年以来、ずっと図書の寄贈を受けてございます。半年間に渡るロングランなので、中で展示品を変えながら見ていただきたいなと思います。本当に地域の方々に作られた図書館というイメージを私も改めて持ちました。貴重な資料を石黒元市長から借りてございます。当時、初代の館長さんをやられた方ということで、ご先祖様が、最初の例えば図書館の規則をどうやったら良いかとかかっていうそういうやりとりも残ってましたので、そういう資料も展示したいと思っておりますので、ぜひ足をお運びいただければというふうに思います。

(熊谷教育長)

その他に何かありますでしょうか。

(坂本委員)

町割400年の3館の展示を見せていただきました。大変素晴らしい展示でコロナがなければもっともっと多くの方に来ていただいたのになという思いを持って帰って参りました。そこで一つ苦言というか意見が、たまたま出会ってしまった場面なんですけれども、観光客らしき方が展示をご覧になっていたんですが、質問があったらしく職員の方に質問をしていたんですけれども、その対応をされた職員の方が全くそれに答えられなかったという現場を目撃してしまいました。そこで、そういった場合の職員の方々の対応のマニュアル等はあるのかどうか、またその展示に関しての研修等はどうなっているのかということをお聞きしたいのですが。その方の質問は北家日記がきたけと読むのかほっけと読むのかということところが一つ、それからこの時代にペンか鉛筆で書かれていると、この時代に毛筆以外で書かれたのはあり得ないのではないかとということで質問されてました。で、私もその時にたまたま居合わせたのでちょっと助け舟を出して館長さんと呼んできたと言ったらあげれば良かったと後で思ったんですけれども、何も力になれなかったんですが、ちょっとそれを感じました。

(熊谷教育長)

大変よく勉強してやっているところもあるんですけども、例えば臨時の方に入ってもらったりローテーションを組んだりして各館、人が少なくてなかなかやれないでいます。ただ、やっぱり仰るように学芸員もなかなか充実していないという実状なんですけれども、やっぱり勉強をしっかり資料のしてからできるだけ答えられるようにやっていく方向をこれから目指さなければということで今、学芸員の採用をぐっと増やす予定です。

(坂本委員)

その後で学識のある方に聞いたら、原本は公文書館にあってそれを昭和になってから書いたものなので毛筆ではないということが私も勉強不足だったんですけどもそこで知りまして、ただそういう知識がある人がおそらく館内にいたんじゃないかなっていうことと、わかりませんで返してしまわずに何か対応があったのではないかなと思いました。

(藤原学習資料館・イベント交流館長)

ご指摘のとおりだと思います。この事案に限らず小さなことまで報告を受けています。このことについても後日報告を受けまして、象潟からいらっしゃったお客さんということで、プロデュースをしていただいた中田さんの方にも私も聞いてみましたけれども。こういうノーマルな事案に加えて、図書館には実にユニークなお客さんが多いところでして、ただ世間話をしている人もいますし、ただ涼みに来る方もいますし、いろんなお客さんがいます。そういう方の対応について統一するように逐一ミーティングをやって対応しているところです。事案についてもメモ書き程度ですけれども、全部残して綴ってやっていますんで、ただ付度するわけではないんですが、その事案の職員、報告を受けた段階なんですけどもお客さんへの対応っていうのは実は定評のある職員なんです。そういうことがあって失敗しましたという話を報告受けて珍しいなと私も思っていました。再度、緊張感を持って対応するように職員等にこの機会にもう1回やりたいと思います。やっぱり先ほど教育長が仰ったように知識のある者がいないというのが職員としていないというのが本当最大の弱点でして、ましてや今回文学館という建物の中でいわゆる博物館的な展示を行ったこともあって本当に詳しい人間がいなかったんです。そういう弱点があるということを踏まえながらその対応を後日詳しい方に聞いてお知らせしますみたいな、通常行っている対応なのでそういうことを徹底していきたいというふうに思います。ご指摘ありがとうございました。

(坂本委員)

それが仙北市の印象にならなければ良いなと思って、この町全体の印象がそうだった、職員分らない人ばかりだったというふうなことにならなければ良いなと思いますので今後の対応をお願いいたします。

(熊谷教育長)

よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

ー質問なしー

それでは、以上で令和2年第11回仙北市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時13分)